

# あんなか T3プロジェクト

## スタートアップビジョン

## 概要版

令和8年  
3月

JR信越本線安中・磯部駅間の新駅構想周辺まちづくり基本構想

ティースリー

### あんなかT3プロジェクトスタートアップビジョンとは

本編 p 1

#### 対象エリアの立地特性

T3は「集う (Tsudou)・つながる (Tsunagaru)  
・高まる (Takamaru)」を表しているよ!



- ☑ 西毛広域幹線道路とJR信越本線が交差する地点で交通拠点として高い潜在能力を有しています。

#### ビジョン策定の目的

- ☑ 既存市街地と連携した、駅まちエリアを核とした新たなまちづくりの方向性や将来像を示します。
- ☑ 交通や生活環境の質を高めながら、地域全体の魅力と価値を持続的に向上させます。

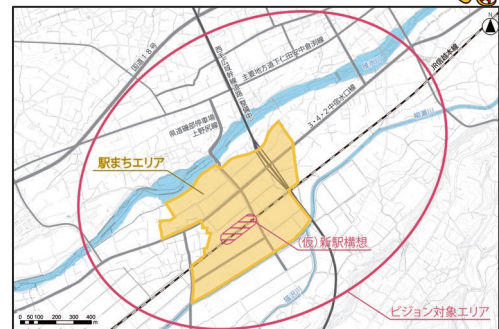


図 ビジョン対象エリア

### 対象エリアの現状と課題

本編 p 5

#### 対象エリアの現状

##### 人口・世帯数

・概ね横ばい

##### 都市計画等

・駅まちエリアは一部用途無指定地域、一部農用地区域

##### 土地・建物利用及び開発動向

・碓氷川右岸の既存市街地は未利用地が広がる

##### 都市基盤

・駅まちエリアには、個別の開発に伴う引き込み道路が多数存在

##### 交通

・路線バス(あんバス)は既存市街地を中心に運行  
・デマンド型交通(あんなカー)は、市内全域を2エリアに分けて運行  
・市内のJR信越本線の鉄道駅のうち、特に安中駅の乗車人員が多い  
・市内のJR信越本線の多くの鉄道駅は、定期利用が大半

##### 生活サービス施設

・新庁舎の周辺に日常生活を支えるサービス施設が集積  
・駅まちエリアには、生活サービス施設の立地は見られない

##### 防災

・想定最大規模の降雨による氾濫で、駅まちエリアほぼ全域で浸水が想定  
・駅まちエリアの一部は家屋倒壊等氾濫想定区域

#### 対象エリアのまちづくりの課題

計画的な土地利用の推進と  
戦略的な都市機能の立地誘導

利便性が高い道路交通・公共交通ネットワークの形成

誰もが快適に過ごせる  
市街地環境の創出

将来像

# 好きが続く、まち。

駅まちエリアで生まれた人の動きや活動が、既存市街地への広がり、既存市街地で育まれた暮らしの魅力や人のつながりが、駅まちエリアにも受け継がれていく。そうした循環が生まれることで、住む人、働く人、訪れる人それぞれが、自分なりの“好き”を見つけ、その“好き”がいつまでも続いていく、そんなまちを目指していきます。

将来構造図

駅まちエリアと既存市街地はそれぞれの特性に応じた役割を担い、相互に補完し合うまちづくりを進めていきます。両エリアは、道路や公共交通を通じてつながり、まち全体の価値を高めていきます。

【拠点】

■ にぎわいの拠点

交通拠点機能や生活環境を基盤として、人が集い、交流や日常のにぎわいが生まれる場所

■ 交通の拠点

多様な交通が集積する場所

■ みどりの拠点

まとまったみどりがあり、人々の滞留・交流の場となる場所

【軸】

■ 道路交通軸

市内外や駅まちエリアと周辺の市街地の結びつきを強化する道路

■ 鉄道軸

市内の主要な鉄道

■ 景観軸

歴史ある通りや景観と調和した空間

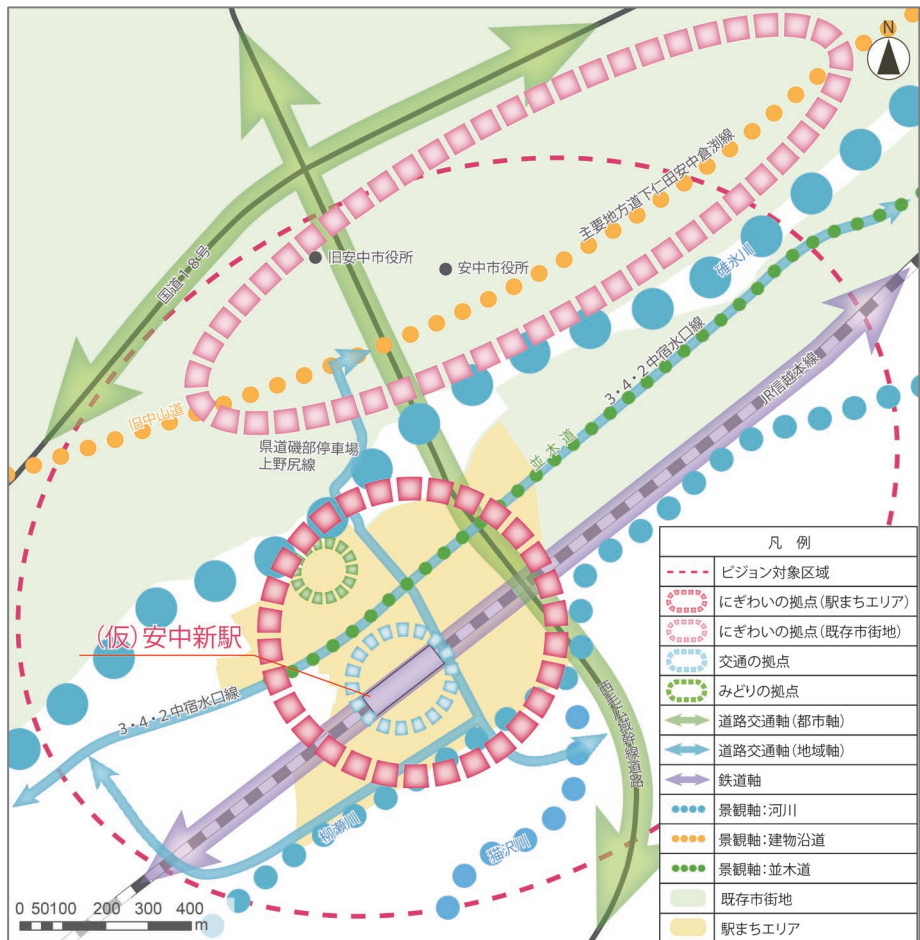


図 将来構造図

## 駅まちエリアのまちづくりのコンセプト

既存市街地を含む地域全体のまちの価値を高めるために重要な役割を担う駅まちエリアにおいて、以下のコンセプトでまちづくりを進めます。

### 集う・つながる・高まる あんなかの新たな駅まちづくり ～あんなかT3プロジェクト～

- ☑ 多様な施設や機能が**集積**し、その利便性や魅力、さらにはイベントの開催等も通じて、自然に人や多様な活動が**集まり**、にぎわいが生み出されます。
- ☑ 多様な手段での移動や道路整備により、エリア内の回遊性が向上し、市内・市外が、駅まちエリアを中心に、**つながり**ます。
- ☑ 本市の魅力である景観や歴史的資源等を活かすとともに、安全・安心なまちを実現することで、生活の質やまちの価値が**高まり**ます。

## 駅まちエリアのイメージ

観光案内所やカフェ等が並び、多くの人でにぎわう空間を創出します。



幹線道路沿いにも店舗が並び、気軽に立ち寄れる空間を創出します。



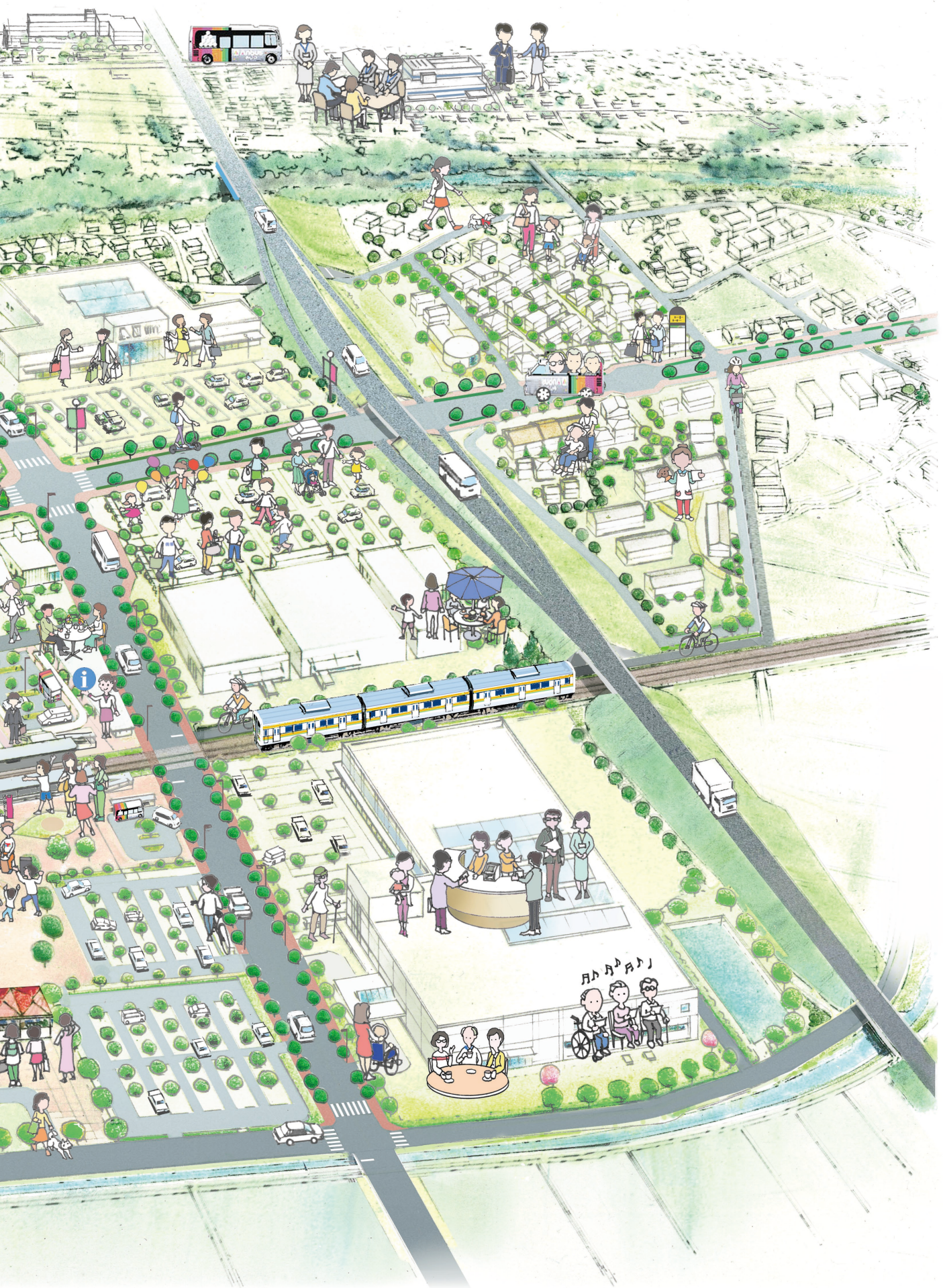
駅前には、誰もが快適に過ごせるよう、広い歩行空間を確保します。



※イラストは市民ワークショップ等で得られた皆さんの意見を参考に作成したものです。皆さんの意向を参考に今後検討を進めていきます。

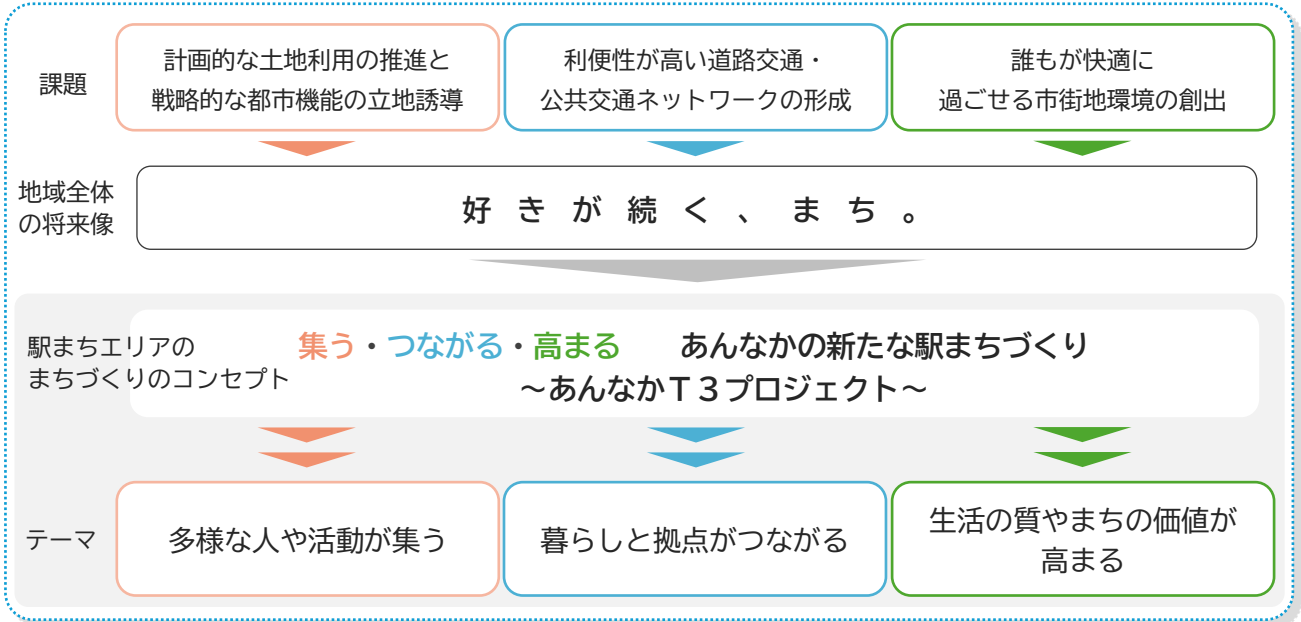
# 駅まちエリア全体のイメージ





※イラストは市民ワークショップ等で得られた皆さんの意見を参考に作成したものです。  
皆さんの意向を参考に今後検討を進めていきます。

駅まちエリアでは、「まちづくりの課題」を解決し、「将来像」を実現するための、まちづくりのコンセプトを軸に、次の3つのテーマでまちづくりを行っていきます。



テーマ① 多様な人や活動が集う

①施設整備によるにぎわいの拠点づくり

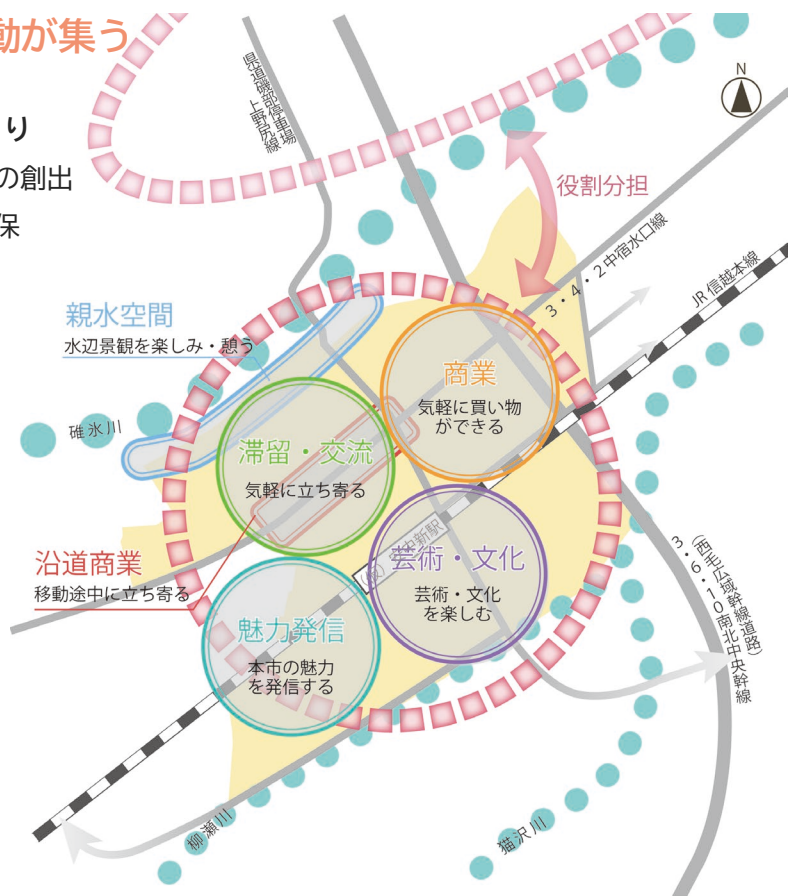
- 役割分担を考慮したにぎわいの拠点の創出
- 気軽に買い物ができる商業機能の確保
- 芸術・文化を楽しめる機能の確保
- 本市の魅力を発信する機能の確保

②人が集まり交流できる

オープンスペースの創出

- 誰もが立ち寄りやすい滞留・交流空間の創出
- 河川を活かした親水空間の創出

凡例	
○	活動
●	にぎわいの拠点 (駅まちエリア)
●	にぎわいの拠点 (既存市街地)
■	駅まちエリア
—	主要道路



## テーマ② 暮らしと拠点がつながる

### ①誰もが利用しやすい公共交通手段の確保

- 交通拠点機能の確保
- 多様な移動手段の確保

### ②誰もが移動しやすい道路整備の推進

- 段階的な道路整備の推進
- 安心・快適に移動できるウォークラブルな空間整備の推進

凡例	
	自動車動線
	歩行者・自転車動線
	グリスルート
	バスルート・バス停 (市内)
	バスルート (市内外)
	新規整備予定道路
	拡幅予定道路
	交通拠点
	エリア内回遊
	駅まちエリア
	主要道路

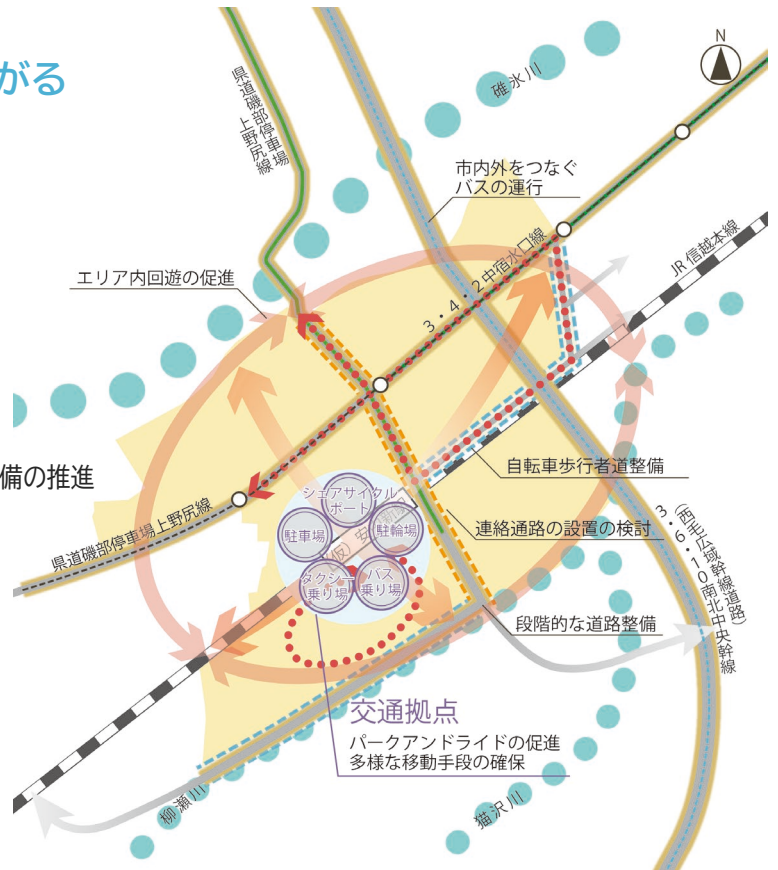


図 「暮らしと拠点がつながる」方針図

## テーマ③ 生活の質やまちの価値が高まる

### ①安全・安心して暮らせる環境の形成

- 防災力の向上
- 防犯力の向上

### ②地域の魅力の向上

- 山並み眺望と駅前・鉄道沿線の景観の形成
- 趣ある景観の形成
- 並木道を活かした歩行空間の形成



凡例	
	山並みの眺望
	水辺景観
	建物沿道景観
	オープンスペース
	歩行者・自転車動線
	駅まちエリア
	主要道路

図 「生活の質やまちの価値が高まる」方針図

協働によるまちづくり

新駅周辺のまちづくりは、駅の整備や開発事業にとどまらず、地域での日常的な活動や将来にわたる価値創出を見据え、地域住民・事業者・行政が協働して進めることが重要です。

地域住民

- ◇ まちの課題やニーズの発見
- ◇ まちづくりへの参画・提案

事業者

- ◇ サービスの提供
- ◇ 民間資金、ノウハウの活用等

行政

- ◇ まちづくり活動の支援
- ◇ まちづくり情報の周知・共有
- ◇ 参画の機会づくり・相談体制の構築

実現に向けた取組・本市の想定する取組スケジュール（概略）

	R8年度～R12年度	R13年度	R14年度以降
共通事項	第3次安中市総合計画 基本構想計画期間		●西毛広域幹線道路 全線開通 ●新駅開業目標 ※新駅設置は現時点では 決定されていません
■ 土地利用の具体的 検討	導入機能・誘導施設の検討		
■ 都市基盤整備の 具体的検討	駅前広場の検討 その他都市基盤整備の検討		
■ 面的整備手法の 検討	面的整備手法の検討	優先整備 (都市基盤及び宅地造成)	その他整備
■ 土地利用の規制・ 誘導方策の検討	用途地域の検討 地区計画の検討 特定用途制限地域の 検討		
■ 関係機関協議の 深度化	農林調整 都市計画手続き (用途地域等)	その他関係機関協議 その他法定等手続き	
■ 地域住民・事業者 等意向の継続把握	意向調査・ワークショップ・住民説明会等		

※現時点で、新駅の設置は決定されていませんが、本ビジョンにおいては、西毛広域幹線道路の全線開通が予定されている令和13(2031)年度末を開業目標とします。なお、本内容は基本構想の段階での予定であり、今後、関係する団体及び事業者、関係機関と詳細な調整を行っていくことから、変更になる可能性があります。

お問合せ

安中市 まちづくり部 都市計画課

○電話番号：027-382-1111 (代表)

○Eメール：toshikeikaku@city.annaka.lg.jp

令和8(2026)年3月 発行

